

] 10 5r •

改良亜鉛還元ナフチルエチレンジアミン法による  
排ガス中の低濃度窒素酸化物の定量

Determination of Nitrogen Oxides of Low Concentration in Exhaust Gas  
by Improved Zinc Reduction-Naphthylethylenediamine Method

畠 俊彦\* 河野吉久\*\*

Toshihiko Hata

Yoshihisa Kono

阪野洋子\*\*

Yoko Banno

Synopsis:

The measuring range of determination of nitrogen oxides by the improved zinc reduction-naphthylethylenediamine method is 0.01 to 10 ppm.

フチルエチレンジアミン法(以下Zn還元NEDA  
で表す)<sup>1)</sup>が一般に使用されている。しかしながら

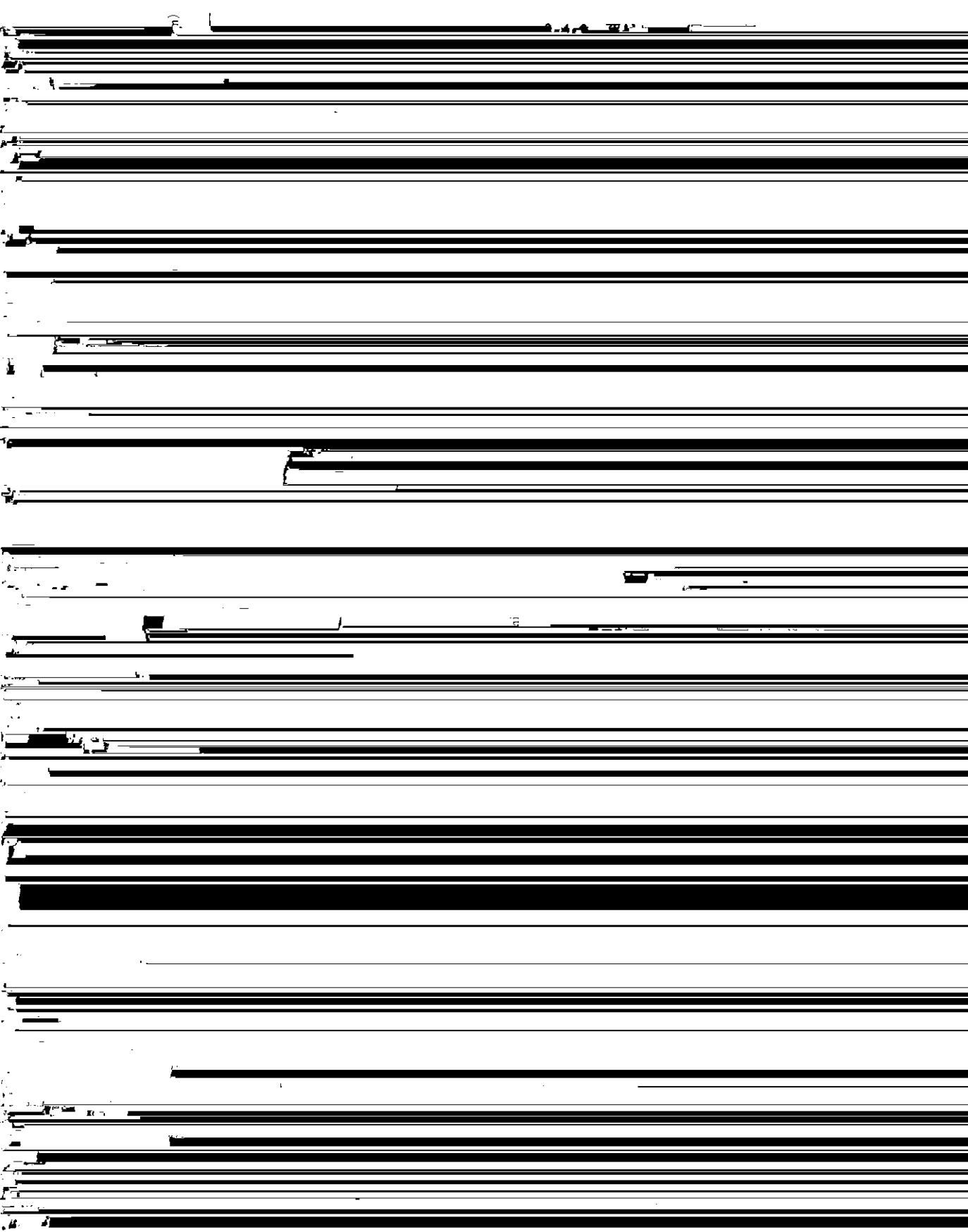
## 2.2 装置

では相当低値を示し<sup>2)</sup>かつ分析に20hも要し現

日本オゾン(株)製のO<sub>3</sub>発生機O-1-2型をO<sub>2</sub>流量

Table 1 Sample gas used in the experiment

あらかじめ吸収液として水25mlを入れた試料ガ



沸騰するまでフラスコ内を減圧にする。コックF<sub>5</sub>を閉じ、コックF<sub>4</sub>, E<sub>3</sub>を操作して活性炭を通る径路としたのち、コックF<sub>3</sub>を開いてフラスコDにO<sub>2</sub>(O<sub>3</sub>)を注入する。このときの試料フラスコ内の圧力を測定し、同時にフラスコ周囲の温度を測定する。つぎに試料ガスがフラスコDに入るようコックを操作してフラスコ内に試料ガスを採取する。コックF<sub>6</sub>を閉じ、装置からフラスコを取る。

$P_{\text{so}}: t_0^{\circ}\text{C}$ における飽和水蒸気圧 (mmHg)  
 $t_t: P_t$ を測定したときの温度 (°C)  
 $t_0: P_0$ を測定したときの温度 (°C)  
 $a: 2$ 酸化窒素量 (mol)

#### (2) NOx 濃度

$$C = \frac{10^6 nv}{V_s}$$

り外し、3 min振とうして吸収液に試料ガスを吸収させる。つぎにフラスコ内の圧力を測定し、同時にフラスコ周囲の温度も測定する。

#### 3・5・2 定量操作

ここに

$C: \text{NOx濃度 (ppm)}$   
 $n: \text{分析用試料溶液の希釀倍数}$   
 $v: \text{検量線から求めたNO}_2\text{の体積} (\mu\text{l})$

#### 3・6 検量線の作成

スコに洗い移し、スルファニルアミド混合溶液15

硝酸イオン標準液の1~8 mlを段階的に100 ml

Table 2 Analytical precision

Sample gas	NOx found (ppm)		$\bar{x}$ (ppm)	$\sigma$ (ppm)	C.V. (%)
NO <sub>x</sub> 2	10.0	10.2	10.0	0.012	+1.2
	9.8	10.2			

1 ppm のガスの場合は、本法では精度よく分析できたが、改良 PDS 法はバラツキが大きかった。

### 3・7・2 実ガスの分析

株式会社日立製作所、東京工業大学、東京大学、東京工業高等専門学校